

平成 28 年 8 月期月次景況調査結果

この調査結果は、中小企業庁の指定事業に基づいて設置された山口県内の情報連絡員 60 人に、本会が新たに選んだ 20 人を加えた 80 人の連絡員より業界動向を把握した結果です。

8 月の業種別景況の前月比 D I 値は、14 業種の中で 3 業種が好転、前月同等が 8 業種、悪化が 3 業種であるが、全体の景況の前年比 D I 値では僅かに好転している。

一般機器、輸送機器、建設業の一部では前年よりも受注量が増加しており、売上も増加しているが、卸売業、商店街、サービス業、運輸業では前年よりも売上が減少している模様である。繊維工業、建設業や運輸業から引き続いて人員・人材不足の報告もある。

全体の D I 値は若干の好転であるが、県内中小企業の景気回復感は弱く、先行きの判断も慎重である。

山口県の主要指標 DI 値（平成 28 年 8 月末現在）

※DI 値とは、前年同期に比べ「増加」・「好転」したとする企業割合から「減少」・「悪化」したとする企業割合を差し引いた値です。

業界の景況 (< 好転 > - < 悪化 > = < DI 値 >)

前年同月比は、好転： 3.8% 悪化：32.5% DI 値：▲28.7% ポイント

売上高 (< 増加 > - < 減少 > = < DI 値 >)

前年同月比は、増加： 18.8% 減少：36.3% DI 値：▲17.5% ポイント









収益状況 (< 好転 > - < 悪化 > = < DI 値 >)


前年同月比は、好転： 12.5% 悪化：26.3% DI 値：▲13.8% ポイント

山口県の業種別 DI 値(業界の景況)（平成 28 年 8 月末現在）

 30 以上	 30 未満～ 10 以上	 10 未満～ ▲10 以上	 ▲10 未満～ ▲30 以上	 ▲30 未満
--	--	---	--	---

食料品	繊維工業	木材・木製品	印刷	窯業・土石製品	一般機器	輸送機器	全製造業
▲42.9	0.0	▲33.3	▲100.0	▲66.7	0.0	50.0	▲27.3
							

卸売業	小売業	商店街	サービス業	建設業	運輸業	その他	全非製造業
▲60.0	▲44.4	▲100.0	▲18.2	0.0	▲14.3	0.0	▲29.7
							

全体
▲28.7


特記事項（景況の変化とその原因・現状等、企業経営・業界での問題点）

食料品	高校総体で山口市管轄のメイン会場は、出店料も無料と好条件で売上も上がった。お盆が前倒しとなり夏休みでもあり、土産菓子は8月いっぱい好調。一方で、洋菓子・和菓子の専門店は暑さが影響し前年より売上が減少した。	パン・菓子製造業 山陽小野田市
	雇用情勢が悪化。	パン・菓子製造業 下関市
	売上は8/22時点の速報値で対前年同月比▲10%。7月と同様に対前年同月比のマイナス幅が徐々に緩やかになっており、お盆期間（8/7～16）の実績も対前年▲9%とほぼ平年並みとなった。全国各地からの行政視察受け入れも依然として高水準で、年間100団体のペースを維持している。	水産食料品製造業 萩市
	引き続き商品の動きが鈍い。全体的に景気の悪い雰囲気が広がっているように思う。	水産食料品製造業 下関市
	円高により輸入原材料の価格は下がり始めたが、デフレ傾向が強くなり安売り競争が激化している。	
	7月に引き続き8月も全く雨が降らなくなり、野菜や大豆の生育への影響が懸念されている。地球温暖化に伴い大型台風が多数発生し、企業経営への天候リスクが高まってきている。突然の自然災害へ対応できるようなインフラの整備を進めるとともに、地球温暖化に対応する農作物の品種改良の必要性がかなり高まっている。	精穀・製粉業
繊維工業	主力販売取引先からの新製品の備蓄のための生産を受注し、12月末までの受注量がある。技能実習生の受け入れについては現在、中国人28名、ベトナム人37名で計65名。日本人の求人については相変わらず最悪の状態。	下着類製造業
	端境期でもあり店頭の品物があまり売れていない様子でメーカーも在庫を抱えている模様。受注も少なくなるとかつないでいる状況。	外衣・シャツ製造業 下関市
	前月と同様で店頭商品の動きが悪く発注ロットが伸びない。生産効率が非常に悪く、しばらくこの状態が続くそうである。又、染工場の火災の影響で原料の入荷が遅れ生産に影響が出ている工場もある。	外衣・シャツ製造業 萩市
木材・木製品	新築物件の減少で木材の乾燥量も減少している。	製材業・木製品製造業 山口市
	公共工事の受注により設備操業度が上昇したが、業界の景況として大きい変化はない。	製材業・木製品製造業 下関市

印刷	8月19日、全日本印刷工業組合連合会の全国組織共済委員会を宇部にて開催。	印刷 下関市
	前月の売上が少なかったため、資金繰りが苦しい状況が続く。	印刷 山口市
窯業・土石製品	8月は前年度より民間工事用の出荷が少し増加しているが、9月の発注量は減少しており、全体的な発注量の低迷状況に変わりはない。 (平成27年8月)骨材 81%、路盤材105%、再生材122% ↓ (平成28年8月)骨材106%、路盤材118%、再生材 84%	砕石製造業
	出荷量は、前月比107%、前年同月比83%。現時点では、セメント・骨材等の資材調達は、特に問題は生じておらず生コン価格も安定している。	生コンクリート製造業
	他の地域の同業者に現状を聞いたところ、相変わらず新規のお墓より撤去・処分の仕事の方が多いとのこと、しばらくは状況が好転する事はなさそう。また、先日行われた技能検定受験者の半数が他の業種からの参加であった。ある意味独占的な業種だと思われていたが、異業種の資格取得により将来的には仕事の減少につながるとの懸念を抱かざるをえない。	石工品製造業
	萩市内は、8月に入り先月と比べ若干観光客が増加したが、前年同月比で観光客数・売上ともに落ち込んでいる。夏期6月～8月は萩焼の売れない時期といわれており、更に前年は「大河ドラマ」、「世界遺産登録」の効果で好調であったため、売上げダウンも致し方ないところではある。この著しい観光客の減少は、九州復興クーポンの影響もあるのではないかと思われ、10月から年末までの第2期販売により、更なる観光客数・売上の減少、悪化が懸念される。組合が商品を提供している浅草アンテナショップの8月の売上げも、先月と比較して横ばいとなっている。関東方面の百貨店や陶器店からの受注に関しては、昨年と比較して大きな増減はない。9月以降に好転することを望んでいる。	陶磁器・同関連 製品製造業
一般機器	8月の景況は前月とは違い芳しくない状況。①材料関連の支払と納入製品代金の収入のタイミングのズレが目立つため取引条件としては悪化の傾向。②海外工事関係は依然として受注が無い。③三菱自動車の燃費不正問題で、今まで三菱の受注をしていた会社がマツダの受注に参入しつつあり、価格競争が激しくなりそう。④全般的に大手の設備投資が今一つの萎縮状態で、発注が少ない、発注時期が遅れる、	一般機械器具製造業 防府市

	<p>競合会社の増加とマイナスの要因が多い。</p> <p>電子機器の会社で雇用調整に入った企業が1社あり。</p> <p>金型の設備操業度は7月に比べ上がっている。全般的に工作機械の稼働率が上がっており、金型の原材料の一部はある程度加工済みの材料を購入して対応している。また、人員が少なくなったために工程の負荷が大きくなり、一部の部品は外注の活用や残業等で対応している状況。今後は11月以降の受注を確保しなければならない時期であり、見積り案件は相変わらず動いているが、如何に短納期、低価格で受注をするか厳しい状況。成形製品の生産状況は8月の連休で稼働日数が少ない中でも、前年に比べ設備稼働率は上昇傾向にはあるが、民生部品（家電部品、電子部品）などの受注量の変動は読みにくい状況が続いている。</p>	<p>一般機械器具製造業 宇部市</p> <p>特殊産業用機械製造業</p>
輸送機器	<p>鉄道車両、精密加工とも順調に売上を伸ばしているが、単価の上昇が見られず厳しい運営が続いている。鉄道車両部門は長期的にも作業量に恵まれている状況だが、精密加工部門は変動が大きく秋後半以降は落ち込むとの見方もある。</p>	<p>鉄道車両・同部品製造業</p>
卸売業	<p>大島・長門産の「いりこ」の入札があっても少量で、品質が悪く購入できない状況で他地区から買付けている。8月は猛暑で荷動きが悪く在庫が若干増加し、倉庫としての売上は若干の増加。</p>	<p>乾物卸売業</p>
	<p>夏場のこの時期は海水温が高くて魚がないが、今年は雨が降らず海水が攪拌されないため昨年より更に深刻である。</p>	<p>生鮮・魚介卸売業</p>
	<p>理容関係の卸の事業所によると業界の景況はあまり良くないとの事。</p>	<p>各種商品卸売業 防府市</p>
	<p>近年にない猛暑日が続く飲料・製氷関連商品が、7月に続き売上が増加している。</p>	<p>各種商品卸売業 山口市</p>
小売業	<p>晴れの日が多かったが、暑かったので客足が遠のいたのかよく原因は判らないが、売上が少なかったお店が多数あった。県全体では、西より東の売上の方が多少良いとの事。</p>	<p>化粧品小売業</p>
	<p>由宇通津地区の小売商店はギリ貧状態で、よくなる兆しは見えず、現状維持が精一杯の状態。ポイント発行機械も故障が多く今後の課題である。事業主の高齢化で病気になる方も多く会議にも支障をきたす状況。地区内の中小企業者の動向は、8月は晴天も続き、氷・ビールなど冷たいもの、日焼け止めなど海水浴商品、夏物衣料などの動きが良かった。ただ猛暑のため商店街を歩く人が激減。特に高齢者の多い由宇町ではそれが顕著であった。今月も小規模事</p>	<p>各種商品小売業 岩国市</p>

	業者への求職希望者が少なく労務管理に苦労した。	
	8月24日、中心市街地にスーパーマーケットが開店し、地域住民の不安が解消された。	各種商品小売業 周南市
	7月は前年より2日程休日が多く、時計等の高額商品も良好で売上は前年同月比+6.3%となったが、8月は逆に休日が前年より1日少ないため、前年同月比▲4%程度となる見込み。また、暑過ぎて人出が増加しない。	各種商品小売業 山口市
	7月で酒のディスカウント店が入店1年が経過し、8月より昨年対比が出来るようになり、セール実施等で僅かだが売上が前年同月を上回った。	各種商品小売業 長門市
商店街	猛暑が続き暑過ぎて人出が少ない。衣料品は再度値下げをしている。9月17～19日に商店街合同のイベントを実施する。10月からのプレミアム商品券でなんとか活気付けや売上の向上に結び付けたい。	山口市
	先月同様、飲料を扱う店の売上は多少上がっているが、他の業種の売上は上がっておらず、衣料関係の売上は特に悪い。	萩市
サービス業	例年であれば夏場はカットのお客が増えるが、今年は連日の猛暑により客足が減少。盆前は多かっただお客さまも盆を過ぎてからばったり。	美容業
	暑さが厳しく外出をひかえた消費者も多く来店サイクルが長くなった。	理容業
	県内における7月登録自動車及び軽自動車の車検台数が、対前年同月比▲14.9%で低調な状況を抜け出せていないが、新車販売に関しては登録車全体で+8.9%でと4ヵ月連続前年同月比を上回っている。ただし、軽自動車の新車販売は、昨年来、対前年同月比でマイナスが続いており厳しい環境といえる。	自動車整備業
	夏の水泳教室への参加者は猛暑とオリンピック効果か昨年に比べて微増した。	スポーツ・健康教授業
	宿泊人員は対前年同月比110%、販売額は105%。7/27～8/10のインターハイ開催により大きく伸びた。	旅館業 山口市
	旅館では、前年同月比で宿泊者数に大きな変化はなかった模様であるが、客単価が下がり収益としては悪化している。ホテルでは、夏らしい暑さでレジャー客が多く売上が増加。	旅館業 下関市
	全般的に施設利用者は減少傾向にあるが、更に休業の宿泊施設があり、宿泊者が減少している。日帰り入浴は夏休み中でスポーツ施設利用者が増加したため入浴者数が維持できている。	旅館業 長門市

	<p>台風が5個も上陸接近するのはやはり異常気象ではないだろうか。その影響で地物の野菜が高騰しており、当面は他産で凌いでも、いずれは他国産を使用せざるを得なくなりそうで、TPPも反対出来そうになくなっていく。原材料を美味しく調理するのが料理で、文化が融合し採算が伴っての飲食業なのだが、高齢者の廃業はますます顕著となり若手の起業は長続きせず、地域の食文化は崩壊の寸前になっている。グローバル社会でのバラバラな特色ある文化はみんな違ってみんないいことはいいのだが、収入格差等のバラバラは良い事ではない。高級志向と大衆志向はあってもいいが、大手が高級から大衆のすべてを支配すると大衆文化そのものが崩壊する。すでに家庭から調理が衰退して久しく飲食業にも調理が衰退しつつあり、食文化とはなんなのか考えさせられる状況である。アベノミクスの経済効果は、錯覚か何かの詭弁によって惑わされているように思えてならない。現に豊かな食生活が送れているのでしょうか。</p>	飲食業
	<p>夏本番を迎え高温の毎日が続いた。数年前からのクールビズのあおりを受け、夏物衣類のクリーニング需要は年々減少傾向にある。暑くなり過ぎると布団や毛布類等の本来まだ出てくるものが、消費者も触りたくない気持ちになって出てこない。早めに涼しくなって衣替えが進んでくれると良い。</p>	普通洗濯業
建設業	<p>7月の山口支部中電への工事申請は135件。太陽光発電への申請35件、オール電化申請82件、LED街路灯への切替・新設申請21件であった。</p>	電気工事業
	<p>公共工事は今後、東京・熊本に集中し、他地区では減少するものと思われる。工事物件の減少により1つの物件に対する総合工事業者の入札参加数が増えている。</p>	左官業
	<p>十分な受注量があり忙しくしているが、追加の受注で更に忙しく仕事をしている組合員もある。従業員不足の中、炎天下の従業員の健康管理に大変気を使った。困ったことに同じ炎天下の作業のガードマンが炎天下を嫌い転職することも多く、全体的な人員不足となっている。今年度は発注量も多く売上が増加する見込みだが、東北他の災害復旧やオリンピックに予算や人員を割くようになると予想しており、来年度の見込みは検討もつかない。ガソリン価格は上昇傾向だが、しばらくは122円ぐらいで推移すると考えている。</p>	管工事業
	<p>7月までの受注量と比べ8月の状況は回復したと思われるが、9月の中旬までであり一旦途切れる模様。</p>	内装工事業

	10月より新たな工事が始まるが、全体的に前工程の遅れが目立っている。	
	今、建設業は人手不足である。若者、女性をターゲットにしているが、賃金、休日、仕事のやりがいなどミスマッチが多く求人を行っても連絡も入らない状況で就職希望者がいない。また、企業に人材を育成する気持ちが不足している様に思われる。	土木工事業 柳井市
	8月の受注高は対前年同月比177%。今年度の累計は対前年比104%。	土木工事業 萩市
運輸業	輸送関係は夏季で例年通り稼働率がやや上昇。酷暑のため飲料の輸送が活発であったが、大型、トレーラー車の輸送は横ばい、輸出関連はやや減少し、前年同月比でプラマイゼロであった。年々高齢化が進み、長距離ドライバー不足は運送業界の特に大きな課題である。燃料費は1.7円の値下げがあったが、収益プラスには程遠い。	一般貨物自動車運送業 下松市
	8月の輸送受注実績は若干の回復を見たが未だ前年割れである。景気は、上期に比べて下期は上向くとこの予想がなされているが、円高が進む中では不確実である。燃料価格は低価格で上下している。乗務員不足は依然として解消されず喫緊の課題である。	一般貨物自動車運送業 防府市
	運送部門は、荷動きの鈍化がみられるが時期的な要因によるものと思われる。倉庫部門に関してはまずまずの動きで、県内全体の景気が少しずつ上がってきている感がある。運送・倉庫部門ともに相変わらず人員が不足しており、ハローワークへ求人広告を出しているが反応は弱い。	一般貨物自動車運送業 宇部市
	売上高は僅かに減少しているのが実情。観光の問合せも年々減少しているが、利用者の高齢化に伴う減少もある。	一般旅客自動車運送業 下関市
	タクシーチケットの取扱い金額は、前年比▲1.0%（平成28年7月1日～平成28年8月20日分）。7月1日～31日分は▲3.8%、8月1日～20日分は+4.4%です。当組合の取扱いは、光市，下松市，周南市，防府市の地域だが、7月分は、周南▲6%，下松▲0%，光+11%，防府市地区が▲2%で、組合員の全域で▲3.2%、地区外（員外）▲35%（金額少）で合計▲3.8%。前年8月が大幅減少（▲11%）だった事、今年の7月は日曜日が多かった事、締切日に郵便が未着だったため8月受託金額にずれ込んだことや、8月に祭日（山の日）が増えた事などが考えられ、全体では、前年同月並みの需要になってきたように思うが、増加とは言えないので好転ではない。主要燃料であるLPGについては、CP（通告価格）と為替に連動して変動する	一般旅客自動車運送業 周南市

	<p>が、ブタン、プロパンのCPが下がり（前月 338\$/トンが今月 300\$/トン）、為替も円高になったので、前月より▲4%になり、前年8月分に比べると18%安価である。車両代や整備費用が上昇しているなか、燃料費が下がるのは大いに助かっているもようである。4、5月と大幅な減少が続いた後で、少し下げ止まった様にも見えるが、回復感の実感は弱くまだまだ予断をゆるさない状況が続いていると思われる。</p>	
	<p>今月も取扱高は伸びていない。</p>	<p>港湾運送業</p>
<p>その他 非製造業</p>	<p>継続して毎月の取引は安定している。8月は前月より若干の増収となった。</p>	<p>介護事業</p>